

実践例 3年生

テーマ： 図鑑ておもしろいね。

〔設定理由〕3年生になると、子どもたちはますます活発になり、たくさんのことを覚えはじめます。この時期に図鑑はぴったりです。児童の中には物語が好きで図鑑は必要なときだけ調べるという子もいます。文章を読むより、図鑑の絵を見るほうがいいという子もいます。どちらのタイプの子も、この時間は図鑑をたっぷり楽しみ、また、書いてある説明も読むように課題を投げかけます。

〔めあて〕 ・目次と索引の使い方を覚える。

- ・関心のある図鑑を選んでじっくり読み、ワークシートに記録する。

〔準備〕 ・学校の図書室に、どんな図鑑が何冊あるか調べておく。

- ・公共図書館から、なるべく学校にはない図鑑を借りて、人数分より少し多い冊数をそろえる。図鑑はふりがなのあるものを選ぶ。
- ・ワークシートを人数分、印刷

時間	児童の活動	支援・留意点など
7	1, 図鑑の目次と索引を実際を使って、調べたいことが出ているページを見つける。	1, 『ごちゃまぜカメレオン』を読み聞かせした後、カメレオンについて図鑑で調べる方法を考えさせる。 ・どの図鑑を使ったらよいか考えさせる。 ・索引の使い方を丁寧に指導する。
3	2, どんな図鑑があるか知る。	2, 図鑑にはどんな種類があるのか、学校の図書室の本を中心に紹介する。
20	3, 関心のある図鑑を選んで、よく読む。知りたいことの出ているページから見る。初めから見ていてもよい。違う図鑑と取り替えてもよい。	3, 図鑑は、写真や絵を見るだけではなく、説明の文章も読むように言う。ページのめくり方も、やってみせる。本を選ばせる。2人で1冊を見てもよいと伝える。 図書館指導員は選べない、読めない児童を支援する。
10	4, ワークシートに、読んだ図鑑とわかったことやおもしろかったことを簡単に書く。	4, ワークシートを配って書かせる。
5	5, 読んだ図鑑と気に入ったページをみんなに見せる。	5, 図鑑にはいろいろな種類があることを広める。 担任の先生のお話

〔評価〕 ・目次と索引の使い方がわかったか。

- ・図鑑に書かれていることを楽しんで読み、ワークシートに書けたか。